

AGRAS MG-1P シリーズ

MG-1P / MG-1P RTK

免責事項と安全に関するガイドライン

V1.0 2018.11



🔍 キーワードのクイック検索機能

PDF ファイルの検索機能によってキーワードを検索することができます。例えば Adobe Reader を利用する場合、Windows ユーザーはショートカットキー Ctrl+F を押し、Mac ユーザーは Command+F を押すと、キーワードを検索することができます。

👉 目次をクリックすると、画面が変わります

ユーザーは目次からファイルの内容構成を把握でき、タイトルをクリックすると、当該ページへ進めることができます。

🖨️ ファイルのプリントアウト

このファイルは高画質プリントアウトに対応しています。

目次

安全について	2
注意	5
用語集	5
フライト前チェックリスト	5
免責事項および警告	6
使用を開始する前に	8
各部品	8
純正部品と機能部品について	8
送信機	8
機体	9
バッテリー	9
ランディングギア	9
コンパス	10
推進システム	10
噴霧システム	11
レーダーモジュール	12
D-RTK (MG-1P RTK 用)	12
ファームウェア	12
DJI MG アプリ	13
ドングル	13
本製品の手入れ	13
保管と輸送	13
メンテナンスと保管	14
フライトの必須条件	14
気象条件と周辺環境	14
フライトコントローラーおよび通信との干渉	15
責任ある機体操作	15
フライトモード、操作モード、機能および注意事項	16
フライトモード	16
操作モード	16
フェールセーフと Return-to-Home (RTH)	16
ローバッテリー	17
タンクの液体切れ	17
法順守と飛行制限	17
規制	17
飛行制限	18
準拠情報	19

安全について



AGRAS™ MG-1P / Agras MG-1P RTK (以下、「MG-1P」 / 「MG-1P RTK」) は、玩具ではありません。また、18歳未満の子供を対象としていません。

「安全について」では、安全に関するヒントの概要のみを紹介しています。本書およびユーザーマニュアルのセクションにすべて目を通し、理解してください。

1. 農薬の使用

- ・粉末状の農薬はできるかぎり使用しないでください。噴霧システムの耐用年数が短くなる可能性があります。
- ・農薬には毒性があり、人間の健康に深刻な危険をもたらします。農薬の使用に当たっては、仕様書の指示に厳密に従ってください。
- ・農薬の注入や混合の際、液が飛び散ったりあふれたりして機器に農薬が残留すると、皮膚に炎症が生じます。農薬を混合した後は、必ず機器を洗浄してください。
- ・農薬の混合にはストレーナーが詰まらないよう、浄水をお使いください。機器を使用する前に詰まりがあれば、洗浄して除去してください。
- ・防護性のある衣服を着用して、農薬が直接体に触れないようにしてください。農薬を扱った後は、必ず手と皮膚を流水で洗ってください。農薬を使用した後は、機体および送信機をきれいにしてください。
- ・農薬の効果的な使用は、農薬の密度、噴霧量、噴霧距離、機体速度、風速、および風向によって左右されます。農薬の使用時にはすべての要因を考慮して、周囲の人、動物および環境の安全を決して損なわないようにしてください。
- ・河川や飲料水源を絶対に汚染しないでください。

2. 環境への配慮

- ・必ず建物などの障害物がない場所で飛行させてください。
- ・大勢の人が集まっている場所の上空やその付近では飛行させないでください。
- ・30mを超える高度での飛行は避けてください。
- ・海拔 2,000m 以上を飛行させる場合は、十分に注意してください。
- ・気温 0 ~ 40℃の穏やかな気象条件で飛行させてください。
- ・操作が適用される法律や規制に違反していないこと、事前に適切な認可をすべて取得していることを確認してください。飛行前に関連する政府機関または当局、もしくは弁護士に問い合わせ、関連するすべての法律および規制に準拠していることを確認してください。
- ・屋内で機体の部品を操作しないでください。

3. フライト前チェックリスト

- ・送信機と機体のバッテリーが完全に充電されている。
- ・ランディングギアと噴霧タンクが適切な位置にしっかりと取り付けられている。
- ・すべてのネジがしっかりと固定されている。
- ・プロペラとフレームアームが展開され、アームスリーブがしっかりと固定されている。

- ・プロペラが良好な状態で、しっかりと固定されている。
- ・モーターに障害がない。
- ・噴霧システムに詰まりがなく、正しく動作する。
- ・新しい飛行場所ごとにコンパスを キャリブレーションする。

4. 操作

- ・回転中のプロペラやモーターから離れてください。
- ・離陸時重量は、24.8kg（海拔 0m での離陸時）を超えないようにしてください。
- ・機体を目視できる範囲（VLOS）で操作してください。
- ・緊急時でないかぎり、機体が飛行しているときに、コンビネーション・スティック・コマンド（CSC）またはその他の方法でモーターを停止しないでください。
- ・フライト中は電話の着信に応答しないでください。
- ・飲酒または服薬時には、飛行させないでください。
- ・Return-to-Home*手順を実行中、レーダーモジュールが適切に動作する操作環境ではない場合、機体は障害物を回避することはできません。送信機が機体と接続している場合、飛行速度と高度を調整して、障害物を避けることができます。
- ・ローバッテリー警告が表示された場合は、機体を安全な場所に着陸させてください。
- ・着陸後、まずモーターを停止させ、次に機体の電源を切り、最後に送信機をオフにしてください。そうしない場合、送信機からの信号が失われるため、機体が自動的にフェールセーフ RTH に入ることがあります。
- ・常に機体を完全に制御するようにして、DJI™ MG アプリに依存しすぎず、ご自身で制御してください。特定の状況では、障害物回避機能が無効になります。常に機体を視野内に捉え、フライトを目視で観察してください。ご自身の適切な裁量により機体を操作し、適時に手動で障害物を避けてください。フライト前に適切なフェールセーフ高度および Return-to-Home 高度を設定しておくことが重要です。

※「Return-to-Home」は（一社）農林水産航空協会の指針により作業中には使用できません。

5. メンテナンスと保管

- ・古くなったり、欠けたり、損傷したプロペラは使用しないでください。
- ・運搬中、または使用しないときには、ランディングギアが損傷しないよう、噴霧タンクを取り外すか、空にしてください。
- ・推奨保管環境温度（噴霧タンクが空の場合）：-20 ~ 40℃。
- ・噴霧後はすぐに機体を洗浄してください。
- ・100 回または 20 時間以上の飛行ごとに、機体を点検してください。
- ・メンテナンス方法の詳細については、本書の「本製品の手入れ」の項を参照してください。

6. 現地法および規制の順守

- ・ <http://www.dji.com/flysafe> で DJI 飛行禁止区域のリストを検索できます。
- ・ DJI 飛行禁止区域は、現地当局の規制やその場での適切な判断に代わるものではありません。
- ・ 救助チームが航空機を使って活動中の空域では、飛行を避けてください。



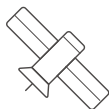
開いた場所
での飛行

+



コンパスのキャ
リブレーション

+



強いGNSS 信号

+

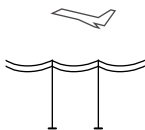


VLOS

+



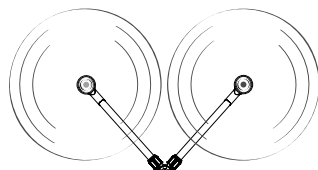
30m 以下を飛行



人混み、高電圧線、水域の近くで飛行させないでください。
電線、基地局、高層ビルなど、強い電磁波の発生源により、内蔵のコンパス性能が影響を受けることがあり
ます。MG-1P RTKの使用をお勧めします。飛行中は常に周囲の状況に気を配ってください。



雨（12時間雨量が25mmを超える場合）、強風（8m/s または 28km/h 超）、霧、雪、雷などの悪天時に機体を
使用しないでください。



回転中のプロペラやモーター
から離れてください。



飛行禁止区域

詳細については、以下でご確認
ください。
<https://www.dji.com/flysafe>

注意

すべての手順書、マニュアル類およびその他担保書類は、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD 独自の裁量で変更される場合があります。最新の製品情報については、<http://www.dji.com> にアクセスして、MG-1P 製品ページをクリックしてご覧ください。

用語集

本製品の関連資料では、以下の用語で製品操作時に起こりうる危険のレベルを示しています。

- 【注記】** 注記：手順を正しく実行しないと、物的な損傷および人的な負傷の可能性が生じます。
- 【注意】** 注意：手順を正しく実行しないと、物的な損傷および人的な重度の負傷の可能性が生じます。
- 【警告】** 警告：手順を正しく実行しないと、物的損害、巻き添え事故、および人的な重度の負傷の可能性が生じるか、または重度の負傷を負う可能性がより高まります。



警告

ユーザーマニュアル全文をよく読んで、機能に習熟してから、本製品を操作してください。製品を操作するに当たっては、責任を持って安全を確保してください。

そうしない場合には、本製品や個人の財産に損害が発生したり、重傷を負うおそれがあります。

本製品は高度な機能を備えています。慎重かつ良識を持った操作とともに、基本的な機械知識が求められます。互換性のない部品を使用しないでください。また、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD が提供する資料に記載されている以外の方法で本製品を改造しないでください。本安全ガイドラインには、安全、操作、メンテナンスの手順を記載しています。本製品を正しく操作し、損害や重傷を避けるためには、組み立て、設定、使用を開始する前に、本ユーザーマニュアルに記載する手順と警告をすべて読み、これらに必ず従ってください。

推奨年齢：18 歳未満は本製品の使用の対象外です。これは玩具ではありません。

フライト前チェックリスト

1. 状態の良い純正部品のみを使用している。
2. 送信機と機体のバッテリーが完全に充電されている。
3. プロペラは良好な状態で、モーターに正しくしっかりと取り付けられている。
4. プロペラとフレームアームが展開され、アームスリーブがしっかりと固定されている。
5. モーターが始動し、正常に機能している。
6. ランディングギアと噴霧タンクが適切な位置にしっかりと取り付けられている。
7. すべてのねじがしっかりと固定されている。
8. すべての部品がしっかりと取り付けられ、ケーブルが正しく、しっかりと接続されている。
9. コンパスがキャリブレーション済みである。
10. 機体のファームウェアと DJI MG アプリが最新バージョンにアップグレードされている。
11. 飛行する地域が飛行禁止区域外で、フライト条件が飛行に適している。
12. 飲酒時、服薬時など、認知能力が損なわれる可能性のある状態では、飛行を行わない。
13. 選択したフライトモードに習熟し、すべての安全機能と警告を理解している。
14. 現地規制をすべて順守し、認可を適切に取得し、リスクを理解している。確認事項：フライト規制の順守は、ユーザーの責任となります。
15. DJI MG アプリが、機体の操作をアシストできるように適切に起動していることを確認する。DJI MG アプリによって記録され、送信機に保存されたフライトデータがない場合、機体の紛失など特定の状況下で、DJI は、アフターサービスの提供や、責任を負うことができない場合があります。

免責事項および警告

本製品は玩具ではなく、18歳未満の方の利用は前提としていません。機体は子供の手の届かない場所に保管してください。また、子供がいるところでは機体进行操作しないでください。

製品には先進技術が採用されていますが、製品の不適切な使用により、傷害や物的損害を引き起こすおそれがあります。初めて製品を使用する前に、製品に関連する資料をお読みください。これらの文書は製品パッケージに含まれますが、オンラインの DJI 製品ページ (<http://www.dji.com>) でも入手できます。

本製品は、農地、森林、果樹園などの農業用途のみを対象としたマルチコプター飛行プラットフォームです。以下に従って、良好な状態で作動すれば、簡単に飛行させることができます。最新の注意事項と警告については、<http://www.dji.com> をご覧ください。安全な飛行と法令順守の詳細については、<http://knowbeforeyoufly.org/> をご覧ください。

本書では、ユーザーの安全と法的権利と責任に関する情報を取り扱っています。ご使用前に、この文書のすべての内容をよくお読み頂き、確実に適切な設定ができるようにしてください。本書の手順と警告を正しく理解して実行しない場合、本製品の損失、ユーザーの重傷、機体の損傷を招くおそれがあります。

本製品を使用することにより、本書の免責事項およびユーザーマニュアルをよく読み、記載されている条件を理解し、順守することに同意したとみなされます。DJI アフターサービスポリシー (<http://www.dji.com/service> に掲載) に明示的な規定がない限り、製品およびすべての資料、製品を通して得られるコンテンツは「現状のまま」および「提供されているまま」で提供され、明示、黙示を問わず、いかなる種類の保証も条件も伴いません。明示、黙示を問わず、DJI アフターサービスポリシーに明示的に規定がない限り、製品、製品アクセサリ、すべての資料に関し、DJI は以下を含む、いかなる種類の保証も一切行いません。(A) 商品性、特定目的の適切性、権限、平和享有権、非侵害に対する黙示的保証、および (B) 取引の過程、使用、商習慣から生ずる保証。DJI 限定保証に明示的な規定がない限り、製品、製品アクセサリ、製品の一部、資料が、中断のないこと、安全で、エラー、ウイルス、その他有害な構成パーツがないことを DJI は保証しません。また、それらの問題の修正も保証しません。

本規約に明示的な記載がない限り、口頭であれ書面であれ、製品、製品アクセサリ、資料から得られる助言や情報により、DJI または製品に関する保証は発生しません。製品、製品アクセサリ、資料の使用またはアクセスに起因するあらゆる損害に対するすべてのリスクは、お客様が負うものとします。お客様の裁量とリスクにおいて本製品を使用し、けが、死亡、お客様の財産への損害（本製品と接続して使用したコンピュータシステム、モバイルデバイス、DJI ハードウェアを含む）、第三者の財産への損害、本製品の使用による、あるいは使用不能によるデータの損失に対して、お客様が単独で責任を負うことについてお客様は理解し、合意するものとします。

保証の免責を認めていない司法管轄区もあり、司法管轄区によっては別の権利を有する場合もあります。

DJI は、SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. (略して「DJI」) およびその関連会社の商標です。本書に記載されている製品、ブランドなどの名称は、その所有者である各社の商標または登録商標です。

責任の制限

いかなる場合でも、DJI は、製品、製品アクセサリ、または資料、フライト環境データ、アクセスまたは使用、アクセス不能または使用不能に関連して発生した間接的損害、付随的損害、特別損害、結果的損害、懲罰的損害（利益の損失、営業権、またはその他の無形資産の損失を含む損害）について、保証、契約、不法行為（過失を含む）、法令、またはその他の法理論に基づいているかどうかを問わず、および DJI が当該損害の可能性について通知を受けていたかどうかを問わず、一切の責任を負いません。

お客様と DJI が別途合意している場合を除き、契約の記述、不法行為、またはその他の条件のあるなしを問わず、これら条件に基づいた本製品のいかなる部分の使用または使用不能に起因する、または関連するすべての請求に対する DJI の債務総額は、100 ドルに制限されます。

データの保管と使用法

当社のモバイルアプリ、製品、その他のソフトウェアの使用、フライトテレメトリデータ（速度、高度、バッテリー寿命、ジンバルとカメラに関する情報）や操作記録など、製品の使用と操作に関するデータを DJI に提供する場合があります。詳細については、DJI のプライバシーポリシー（dji.com/policy に掲載）を参照してください。

DJI は、この免責事項と安全ガイドラインを更新する権利を保持します。定期的に <http://www.dji.com> にアクセスし、また電子メールをチェックして、最新版をご確認ください。この免責事項は、複数の言語で提供されています。言語版によって違いがある場合には、英語版が優先されます。

使用を開始する前に

機体を安全に操作し、活用していただくため、以下の資料をご用意しています。

同梱物

免責事項と安全に関するガイドライン

クイックスタートガイド

ユーザーマニュアル

同梱の資料に記載される部品をすべて確認して、フライト前に免責事項と安全ガイドラインをお読みください。組み立てを完成させ、クイックスタートガイドと DJI の公式ウェブサイト (<http://www.dji.com>) のビデオチュートリアルを使用して基本的な操作方法を確認してください。詳細については、DJI の公式ウェブサイトユーザーマニュアルをご覧ください。フライト前に、各部の機能、フライトの必須条件、主な緊急警告機能/システム、政府所管官庁の規制をすべて十分に理解しておくようにしてください。本製品の組み立て、メンテナンス、使用に関して不明な点や問題がある場合は、DJI または DJI 正規販売店にお問い合わせください。

各部部品

純正部品と機能部品について

警告

部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

- 必ず DJI の純正部品または DJI が認定する部品をお使いください。非純正の部品や DJI 認定メーカー以外が製造した部品を使用すると、システムに不具合が発生し、安全性が損なわれるおそれがあります。
- 機体や部品内に異物（水、油、土、砂など）がないか確認します。
- 機体と送信機、ランディングギア、コンパス、推進システム、レーダーモジュール、噴霧システムなど（ただし、これらに限定されない）の構成パーツがすべて良好に作動し、損傷がなく、十分に機能するか確認します。部品の機能を確実に維持する方法の詳細については、本書の他のセクションを参照してください。

送信機

警告

部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

- 送信機のポートは、仕様に厳密に従って使用してください。
- 送信機のディスプレイ機器がインターネットにアクセスできることを確認してください（Wi-Fi または SIM カード経由）。アクセスできないと飛行記録が DJI サーバーにアップロードされないため、DJI は保証修理サービスを提供できない場合があります、発生した損失に対して一切責任を負うことはできません。

注記

- 送信機が完全に充電されているか、必ず確認してから、飛行を開始してください。
- 送信機をオンにして機体と接続せずに 5 分間使用しないと、送信機から警告音が鳴ります。6 分経過すると、自動的に電源がオフになります。スティックを動かすか、他の操作をすると、アラートは止まります。

3. 送信機のアンテナを展開し、最適な伝送品質を維持できるよう、正しい位置に調整します。
4. 送信機が損傷している場合は、修理または交換します。送信機のアンテナに損傷があると、性能は大幅に低下します。
5. 交換用送信機を使用する際は、機体とリンクさせる必要があります。テストを実施し、伝送距離 300m に達した場合のみ、リンク接続は安全とみなされます。詳細については、ユーザーマニュアルを参照してください。
6. 送信機の GNSS を適切に機能させるためには、DJI ロゴが上向きで、送信機の付近に金属類がないことを確認してください。
7. 送信機は取り外し可能なインテリジェントバッテリーを使用します。使用方法と安全上の警告については、*WB37* インテリジェントバッテリーに関する安全ガイドラインを参照してください。
8. 機体と送信機がリンクすると、以前確立していた機体と他の送信機のリンクはすべて削除されます。これにより、複数機体制御モードの送信機とリンクしていたすべての機体は、その 1 台の送信機のみで制御できます。異なる送信機を使用して機体を制御するには、DJI MG アプリを使用している送信機と対象の機体を手動でリンクする必要があります。

機体



部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. 機体にあるポートは、仕様に厳密に従って使用してください。
2. 機体のポートを短絡させないでください。
3. 機体の中央にある GNSS モジュールを塞がないでください。塞いでしまうと、GNSS 信号の強度が低下します。

バッテリー



部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. DJI が指定するバッテリーのみを使用してください。
2. 機体の電圧は 50.4V に達することがあります。バッテリーの安全ガイドラインを読んで、バッテリー取り扱い時に必要な安全上の注意を守って、使用者の安全を確保してください。

ランディングギア



部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. ランディングギアの脚部は左右入れ替えできません。コンパスケーブルが付いているランディングギアの脚部を必ず機体の右側（後部から見て）に取り付けてください。
2. ランディングギアの右側の脚部を取り付ける前に、コンパスケーブルをランディングギアの手付け部に接続します。ランディングギアの脚部を取り付け/取り外しする際には、コンパスケーブルを損傷しないよう注意してください。
3. ランディングギアを取り付ける際に、ネジ留め液を塗布します。フライト前に、ネジ留め液が乾いて、固まっているか確認します。

コンパス

警告

部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. ランディングギアの右側の脚部を取り付ける前に、コンパスケーブルをランディングギアの取り付け部に接続します。ランディングギアの脚部を取り付け/取り外しする際には、コンパスケーブルを損傷しないよう注意してください。コンパスケーブルに摩耗や損傷があると、重大な事故を引き起こすおそれがあります。

注意

予想される重傷や物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. 機体がまっすぐに飛行できないなど、フライト中に明らかなドリフトが発生した場合には、すぐに着陸させてください。

注記

1. フライト前に、必ずコンパスをキャリブレーションしてください。適切にキャリブレーションしないと、飛行性能が低下したり、墜落するおそれがあります。
2. 磁性干渉が強い場所では、コンパスのキャリブレーションを実施しないでください。磁性干渉の強い場所には、巨大な金属製の物体がある場所、立体駐車場、地下の鋼鉄補強材、橋下などがあります。
3. コンパスのキャリブレーション時には、鍵やスマートフォンなどの強磁性物質は持たないでください。
4. 屋内から屋外に移動した際には、必ずコンパスのキャリブレーションを行ってください。
5. 機体ステータスインジケーターが赤色に点滅している場合、コンパスのキャリブレーションに失敗しています。キャリブレーションをやり直してください。
6. 正常にキャリブレーションした後に機体を地面に置くと、コンパスに異常が発生することがあります。これは、地下の磁性干渉が原因です。機体を別の場所に移動して、再度キャリブレーションしてください。
7. 以下の場合には、コンパスを再度キャリブレーションしてください。
 - a. コンパスデータが異常で、機体ステータスインジケーターが赤色と黄色に交互に点滅する場合。
 - b. 新しい場所で飛行する場合、あるいは前回の飛行とは別の場所で飛行する場合。
 - c. 機体の機械構成が改変されている場合（コンパスの取り付け位置が変わった場合など）。
 - d. 機体がまっすぐに飛行できないなど、フライト中に明らかなドリフトが発生した場合。

推進システム

警告

回転中のプロペラとモーターにより、操縦者や周囲の人が重傷を負わないよう、以下の規則を順守してください。

プロペラ

1. 欠けたり、損傷したり、古くなったプロペラは使用しないでください。
2. 必ず機体の電源をオフしてから、プロペラに触れてください。
3. プロペラを取り付ける、または取り外す際には、プロペラの鋭い先端に気をつけてください。プロペラに触れる際には、手袋を着用するなどの保護対策を講じてください。
4. 飛行前に、プロペラが展開されており、しっかりと固定されているか確認してください。
5. プロペラを取り付けた状態で、付近に他の人や動物がいる場合には、モーターの電源をオンにしないでください。

モーター

1. モーターがしっかりと取り付けられ、スムーズに回転することを確認してください。
2. モーターの構造を改造しないでください。
3. フライト後、モーターが高温になっていることがあるため、モーターに触れたり、手や体が接触したりしないようにしてください。

注意

予想される重傷や物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. モーターの通気孔を塞がないでください。

注記

1. モーターに埃が付かないようにしてください。
2. モーターが動かず、自由に回転しない場合は、CSC（コンビネーション・スティック・コマンド）を実行して、モーターを緊急停止します。
3. モーターの電源をオンにして、動作音に異常がないことを確認してください。

噴霧システム

警告

部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

農薬の使用

1. 粉末状の農薬はできるかぎり使用しないでください。噴霧システムの耐用年数が短くなる可能性があります。
2. 農薬には毒性があり、人間の健康に深刻な危険をもたらします。農薬の使用に当たっては、仕様書の指示に厳密に従ってください。
3. 農薬の注入や混合の際、液が飛び散ったりあふれたりして機器に農薬が残留すると、皮膚に炎症が生じます。農薬を混合した後は、必ず機器を洗浄してください。
4. 農薬の混合にはストレーナーが詰まらないよう、浄水をお使いください。機器を使用する前に詰まりがあれば、洗浄して除去してください。
5. 防護性のある衣服を着用して、農薬が直接体に触れないようにしてください。農薬を扱った後は、必ず手と皮膚を流水で洗ってください。農薬を使用した後は、機体および送信機をきれいにしてください。
6. 農薬の効果的な使用は、農薬の密度、噴霧量、噴霧距離、機体速度、風速、および風向によって左右されます。農薬の使用時にはすべての要因を考慮して、周囲の人、動物および環境の安全を決して損なわないようにしてください。
7. 河川や飲料水源を絶対に汚染しないでください。

スプリンクラー

1. 水和剤などの不溶性農薬を使わないでください。
2. スプリンクラーは繊細な部品です。使用后、速やかに洗浄してください。
3. 取り付け時に最小曲げ半径よりも狭いアークでホースを曲げないでください。これにより、折り目が付かないようにして噴霧効果が低減しないようにします。
4. 液漏れを防ぐためにナットがしっかりと締め付けられていることを確認してください。

噴霧タンク

1. 噴霧タンクを取り付ける際には、ネジ留め液を塗布してください。飛行前に、ネジ留め液が乾いて、固まっているか確認します。

2. 噴霧タンクの内部負荷が 10kg を超えないようにしてください。
3. 噴霧タンク上部のバッテリー重量が 4kg を超えないようにしてください。

レーダーモジュール

注記

1. 現地の無線通信法規制を順守してください。
2. レーダーモジュールは平坦な場所でのみ適切に機能しますが、10 度以上の傾斜のある場所や、高さが急に変化する場所では機能しません。
3. レーダーに干渉しないようにするには、近距離で複数の機体を使用しないでください。
4. 使用する前に、外側の保護カバーにひび、欠損、へこみ、変形がないことを確認してください。
5. 姿勢モードでは、障害物回避機能が無効になります。
6. 障害物回避は、機体のピッチが 15° を超えると性能が低下します。慎重に飛行させてください。
7. 0.8m 未満の高さで地表上を飛行すると、障害物回避は無効になります。
8. 機体の速度は、2m 未満の高さで地表上を飛行する場合、5m/s 以下にする必要があります。2m 以上の高さで飛行する場合、機体の速度は 7m/s 以下にする必要があります。速度制限を超えると、障害物回避の能力が大幅に低下するか、状況により無効になります。
9. レーダーモジュールにより、機体は動作範囲内の作物から一定の距離を維持できます。作物からの機体の距離を常時監視してください。
10. 斜面を飛行するときは、機体の速度に応じて特に慎重に操作してください。推奨最大傾斜度は 1m / 秒時に 10 度、3m / 秒時に 6 度、5m / 秒時に 3 度です。
11. 機体を常に完全に制御するようにしてください。DJI MG アプリに依存しすぎず、ご自身で制御してください。機体を常に視界の中に入れて、目を離さないでください。障害物を避ける場合、ご自身の判断で手動操作を行ってください。
12. 出荷前に搭載されたレーダーモジュールの部品を分解しないでください。
13. レーダーモジュールは精密機器です。強く押ししたり、叩いたり、ぶつけたりしないでください。

D-RTK (MG-1P RTK 用)

注記

1. DJI の純正部品または DJI が認定する部品のみお使いください。非純正の部品や DJI 認定メーカー以外が製造した部品を使用すると、システムに不具合が発生し、安全性を損なうおそれがあります。
2. 操縦は無線干渉のない開けた環境で行ってください。使用する際は、互いが干渉しないようにしてください。
3. D-RTK™ およびその部品に異物（水、油、土、砂など）が付いていないことを確認してください。

ファームウェア

警告

子供や動物が重傷を負わないように、以下の規則を順守してください。

1. ファームウェアのアップグレード、システムのキャリブレーション、パラメータ設定の作業中は、安全確保のため、子供や動物を近づけないでください。

注記

1. 安全のため、常に最新のファームウェアに更新してください。

- 必ず公式の DJI ファームウェアをお使いください。
- 機体のファームウェアを更新した後は、必ず送信機のファームウェアを最新バージョンに更新してください。
- 更新後、送信機と機体とのリンクが切れる場合があります。その場合、送信機と機体を再リンクします。
- ファームウェアを更新する前に、接続をすべてチェックし、モーターからプロペラを取り外してください。

DJI MG アプリ

注記

- DJI MG アプリを起動する前に、送信機を完全に充電しておきます。
- 画面に表示される安全性に関するヒント、警告メッセージ、および免責事項をよくお読みください。お使いの地域の関連規制を事前に確認しておいてください。ユーザーには、関連規制をすべて認識のうえ、これを順守して飛行する責任があります。
 - 自動離陸および自動着陸機能の使用
 - 初期設定の制限を超える高度の設定
- アプリにアラートが表示された場合は、機体をただちに着陸させてください。
- アプリに表示される機体ステータスリストで必ず警告メッセージをすべて確認してから、飛行してください。
- インターネットに接続して、飛行地域の地図データをキャッシュしてから、飛行させてください。
- このアプリは、操作をアシストするために設計されています。アプリに頼りすぎず、ご自身の裁量に基づいて機体を制御してください

ドングル

注記

- DJI MG アプリの製品機能にはドングルおよび SIM カードが必要なものがあります。これらの追加費用についてはユーザーが負担する必要があります。
- DJI 認定のドングルを使用してください。
- ドングルおよび SIM カードは、各マニュアルに従って使用してください。
- DJI は、サードパーティー製ドングルと SIM カードに起因するユーザーデータの損失または機体の不具合により発生した事故について一切の責任を負いません。
- ドングルと互換性のある SIM カードのみを使用してください。
- ドングルおよび SIM カードが適切に取り付けられていることを確認してください。適切に取り付けられていないと、関連する機能が利用できなくなります。

本製品の手入れ

保管と輸送

警告

部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

- ケーブルやストラップなどの小さい部品を飲み込むと危険です。部品はすべて、子供や動物の手の届かない場所に保管してください。

2. 運搬時には、機体からバッテリーを必ず取り外してください。
3. 運搬中、または使用しないときには、ランディングギアが損傷しないよう、噴霧タンクを取り外すか、空にしてください。

メンテナンスと保管

警告

部品の不具合、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. 噴霧後、機体の全部品を速やかに洗浄してください。
 - a. 噴霧タンクを浄水で満たし、空になるまでノズルから水を噴霧します。これを2回以上繰り返してください。
 - b. 機体から噴霧タンクのストレーナー、ノズルストレーナー、およびノズルを外します。取り外した部品を洗浄して、浄水に12時間浸しておきます。
 - c. 水を満たした噴霧ウォッシャーを使用して機体を洗浄し、柔らかいブラシまたは濡れた布で拭いてから、乾いた布を使用して水の上みを拭き取ってください。大量の水を機体につけないでください。
 - d. 乾燥した環境で機体を保管してください。
2. 100回または20時間以上飛行するごとに、機体を点検してください。
 - a. 摩耗したプロペラを点検して交換します。
 - b. プロペラに緩みがないか確認します。必要があれば、プロペラとプロペラウォッシャーを交換します。
 - c. 劣化したプラスチックやゴムの部品を点検します。
 - d. ノズルに詰まりがないか点検します。ノズルを丁寧に洗浄して、必要があれば交換します。
 - e. ノズルストレーナーおよび噴霧タンクストレーナーを交換します。
3. 50～100時間（飛行環境により異なります）ほど飛行したら、吸気口を掃除して内部のエアフィルターを交換してください。少なくとも1年に1回はフィルターを交換してください。
4. 自分で機体の修理をしないでください。部品に損傷があれば、DJI サポートか DJI 正規販売店までご連絡ください。

注記

1. レーダーモジュールの保護カバーを常に清潔な状態にしてください。柔らかい湿った布で表面を拭き、再度使用する前に自然乾燥させてください。
2. FPV カメラは清潔に保ってください。大きめの埃や砂を取り除いてから、きれいな柔らかい布でレンズを拭いて埃やごみを取り除きます。
3. 墜落したり、衝撃を受けたりした場合には、次のフライトまでに機体のすべての部分を点検し、必要な修理と交換を行ってください。問題や不明点がある場合は、DJI 正規販売店にご連絡ください。

フライトの必須条件

気象条件と周辺環境

警告

機体は、穏やかな気象条件で正常に動作するように設計されています。衝突、重傷、財産の損害、健康被害を避けるため、以下の規則を守ってください。

1. 豪雨（12時間雨量が25mmを超える場合）、強風（28km/h超）、霧、雪、雷、竜巻、台風などの悪天候時に機体を使用しないでください。

2. フライト時には、機体を障害物、人、動物、建造物、公共インフラ、水域から 10m 以上離してください。機体の高度が上昇するのに合わせて、上述の物体や障害物からさらに遠く離してください。
3. 屋内で機体の部品を操作しないでください。
4. 付近の住民の健康被害を防止するため、風速 8m / 秒を超える場合には機体を操作しないでください。

注記

1. 機体やバッテリーの性能は、空気密度や気温などの環境要因に左右されます。
 - a) 海拔 2,000m より高い環境で飛行させるときは、バッテリーと機体の性能が落ちる可能性があるため、細心の注意を払ってください。
2. 事故、火災、爆発、洪水、津波、雪崩、地滑り、地震、粉塵、砂嵐の環境下では、機体を使用しないでください。

フライトコントローラーおよび通信との干渉

注記

1. 障害物のない開けた場所で飛行させてください。高層ビル、鉄骨の建物、山、岩または森林は搭載されているコンパスや GNSS システムの精度に影響を及ぼし、GNSS と送信機の信号をブロックする可能性があります。
2. 送信機と同じ周波数帯を利用する無線機器は使用しないでください。
3. レーダーモジュールとの干渉を避けるため、マイクロ波を使う機器の電源を切ってください（パーキングセンサー、自動車のレーダー探知機など）。
4. 複数機制御機能を使用するときは、操作グループ同士で干渉しないようにするために、半径 50 メートル以内で 3 つ以上グループを操作しないでください。DJI ベースステーションで MG-1P RTK を使用しないかぎり、DJI MG アプリで各送信機のシリアル番号を手動で設定する必要があります。
5. 磁性干渉や電波障害のある領域付近を飛行する場合は特に注意をしてください。そのような環境では MG-1P RTK の使用をお勧めします。こうした地域には高電圧線、大規模送電局、モバイル基地局、放送塔などがありますが、これらに限定されません。磁性干渉や無線干渉のある地域で使用すると、本製品の伝送品質の低下、伝送エラーが発生するおそれがあり、その場合、フライト方向と位置精度に影響することがあります。過度な干渉がある地域では、機体が異常な挙動をしたり、制御できなくなったりすることがあります。

責任ある機体操作

警告

重傷や物的損害を回避するため、以下の規則を順守してください。

1. 飲酒、服薬、麻酔などの影響はないか、めまい、疲労、吐き気などの症状がないか、あるいは身体的、精神的に、機体を安全に操作する能力があることを確認してください。
2. 飛行中にモーターを緊急停止しないでください。ただし、緊急停止することで破損やけがのリスクを低減できるような緊急の場合を除きます。
3. 着陸したら、まず機体の電源をオフにし、次に送信機のスイッチをオフにしてください。
4. 機体を落下、打ち上げ、発射したり、危険な積荷を積載したり、建物、人、動物に向けて操作しないでください。これにより、人的傷害や物的損害が生じるおそれがあります。

注記

1. 操縦者が十分に操縦に熟達しており、緊急事態や事故発生時への対応策があることを確認してください。

2. 飛行計画が策定されており、無謀な飛行でないことを確認してください。
3. 本製品を違法な目的や不適切な目的（スパイ行為、軍事作戦、不正捜査など）のために使用しないでください。
4. 本製品を中傷、虐待、嫌がらせ、ストーキング行為、脅迫など、他人の法的権利（プライバシー権やパブリシティ権など）を侵害する行為に使用しないでください。
5. 他人の私有地に侵入しないでください。

フライトモード、操作モード、機能および注意事項

フライトモード

注記

初期設定では、機体はPモードで飛行します。

Pモード（測位）：機体はGNSSで位置を把握します。GNSS信号が弱い場合は、Aモードに戻ります。

Aモード（姿勢）：位置決めはGNSSは使用されず、機体は気圧計のみを使用して高度を維持します。GNSS信号が弱い場合、あるいはコンパスが干渉を受ける場合、Aモードに入ります。

Aモードでは、機体は位置決めできず、周囲の状況に影響されやすくなり、結果として水平方向に移動することがあります。送信機を使用して機体の位置を調整します。

Aモードで機体进行操作するのは、難しい場合もあります。GNSS信号の弱いエリアや狭いスペースでの飛行は避けてください。飛行させると、機体は強制的にAモードになり、フライト上の危険につながるおそれがあります。危険を避けるためにすぐに安全な場所に着陸させてください。

操作モード

警告

重傷や物的損害を回避するため、以下の規則を順守してください。

1. 使用前に、各操作モードにおける機体の挙動を完全に理解しておいてください。
2. 操作ルート付近にある障害物には近づかないようにしてください。視野内に機体を捉えておき、常にステータスを監視してください。
3. 強いGNSS信号を受信している場合、ルートまたはA-Bルート操作モードでのみ操作してください。

フェールセーフと Return-to-Home (RTH) ※

注記

1. GNSS信号が不十分な場合、またはGNSSが有効ではない場合は、Return-to-Homeが機能しません。
2. 機体の高度が15メートルを超え、プリセットされたRTH高度に達するまでの間にスロットルスティックを動かすと、機体は上昇を停止し、速やかにホームポイントに戻ります。
3. 高層ビルは、Return-to-Homeに悪影響を及ぼすことがあります。そのため、フライト前に適切なフェールセーフ高度を設定しておくことが重要です。ホームに戻るまでに障害物を避けられるよう、機体の位置、高度および速度を調整してください。
4. 機体は常に送信機の伝送域内で飛行させてください。
5. RTH機能は天候、環境、周辺の磁場の影響を受けることがあるため、緊急時のみ使用してください。

※ 「Return-to-Home」は（一社）農林水産航空協会の指針により作業中には使用できません。

6. RTH 中、機体の 20m 以内に障害物がある場合、機体は減速し、停止してホバリング状態になります。減速中、障害物との距離が 6m 以内になると、機体は障害物から約 6m の距離まで戻り、ホバリング状態になります。機体は RTH 手順を終了し、パイロットからの指示を待ちます。

ローバッテリー

注記

1. 重大なバッテリー低レベル警告が起動して機体が自動的に降下する場合も、スロットルを押し上げて機体の高度を維持して、より適切な着陸地点へ機体を誘導することができます。
2. バッテリーに関する警告が発信された場合には、機体をホームポイントに速やかに戻すか、着陸させてください。そうしないと、フライト中に電池切れになり、機体の損傷、物的損害、動物や人への傷害が発生するおそれがあります。

タンクの液体切れ

注記

噴霧タンクが空になると、DJI MG アプリに表示され、機体はその場でホバリングします。ルート、A-B ルート、およびマニュアルプラスの各操作モードでは、ホバリングせずに機体を上昇させるか、帰還するよう設定することもできます。

法順守と飛行制限

規制

警告

法令不履行、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. 農業以外の用途に機体を改造したり、使用しないでください。
2. 高度に関係なく、有人の航空機周辺で操作しないでください（必要であれば、速やかに着陸させてください）
3. 都市部、スポーツイベント、展示会、公演など（これらの場所に限らず）、多くの人が集まる地域では飛行させないでください。
4. 認可を受けた高度を超えて飛行させないでください。有人の航空機の航路から十分な距離を保ち、運行を妨げないでください。常に他の航空機や障害物に注意して、回避してください。

注意

法令不履行、重傷、物的損害を避けるため、以下の規則を順守してください。

1. 現地法および規制に指定された制限区域内やその近くでは機体を飛行させないでください。制限区域の一覧には、空港、2つの主権国または地域の国境、主要都市／地域、一時的に活動が行われる地域などが記載されていますが、これらの場所に限定されることはなく、一覧は常に更新されています。
2. 認可を受けた高度を超えて飛行させないでください。
3. 常に機体を視界内に捉え、必要であれば、補助員に支援を要請してください。
4. 違法または危険な物品／貨物の運搬に機体を使用しないでください。

注記

1. 実施するフライトの内容／種類（レクリエーション、公共利用、商業的使用など）を理解して、関係所管庁から飛行に関連する承認と認可を受けていることを確認してから、飛行してください。包括的な定義と個別の要件については、現地の規制当局にお問い合わせください。米国で機体を操作する場合は、まず <http://www.knowbeforeyoufly.org/> にアクセスして、状況に合う最も適切な措置を講じてください。
2. 特定の国と地域では、リモート制御の航空機を使った商業活動を禁止している場合がありますので、ご注意ください。実際の規則が本書の記載と異なることがあるため、フライト前に現地の法規制や条例をすべて確認し、これらに従ってください。
3. 発電所、水処理施設、矯正施設、交通量の多い道路、政府施設、軍事用ゾーンなど、慎重な対処が求められる基幹施設や敷地周辺を飛行しないでください。

飛行制限

注記

DJI は常にフライト中の安全を重視しており、ユーザーが現地規則と規制を順守して飛行できるよう、さまざまな補助ツールを開発しています。ファームウェアを最新バージョンに更新して、以下の機能がすべて更新されていることを必ず確認することを強く推奨します。

飛行禁止区域

1. すべての飛行禁止区域は、DJI 公式ウェブサイト <http://www.dji.com/flysafe> に一覧表示されています。飛行禁止区域は、異なるカテゴリーに分けられており、空港、有人飛行機が低空で操縦されている飛行場、国境、発電所、大規模なイベントが開催されている場所などの要注意区域が含まれていますが、これらの場所に限定されません。
2. 飛行制限は場所に応じて変わります。特定のゾーンでの制限に応じて、DJI MG アプリに警告が表示され、離陸が禁止される場合があります。また、飛行高度が制限されるか、機体を自動着陸するなどの処置が自動的に実行される場合があります。
3. 機体が飛行禁止区域の付近またはゾーン内にある場合、飛行に関連する機能はある程度影響を受けます。これらの影響には、機体が減速する、飛行タスクを作成することができない、実行中の飛行タスクが中断するなどがありますが、これらに限りません。
4. 飛行禁止区域制限に基づいて操作しても、適用されるすべての法律、規制および一時的な飛行制限の順守は保証されません。法を順守するために、弁護士または地域の管轄当局にお問い合わせください。

高度制限

1. 地面より 30m 以下の高度を飛行して、周辺の障害物からの距離を保ちます。
2. 初期設定の高度制限を超えて飛行しようとすると、新しい高度制限を有効にするよう免責条項が表示され、これらに同意する必要があります。

距離制限

1. 飛行距離制限は、初期設定で 1km に設定されています。初期設定の距離制限を超えて飛行しようとすると、新しい距離制限を有効にするよう警告メッセージが表示され、これに同意する必要があります。機体が非常に遠い場所を飛行している場合、機体がホームポイントに戻るにはバッテリー残量が不十分である場合があることに注意してください。

準拠情報

FCC Compliance Notice

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF Exposure Information

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. In order to avoid the possibility of exceeding the FCC radio frequency exposure limits, human proximity to the antenna shall not be less than 20cm during normal operation.

IC RSS Warning

This device complies with Industry Canada licence-exempt RSS standard (s). Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device.

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence.

L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

IC Radiation Exposure Statement:

This equipment complies with IC RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

This equipment should be installed and operated with minimum distance 20cm between the radiator & your body.

Any Changes or modifications not expressly approved by the party responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

KCC Warning Message

"해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다."

"해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음"

NCC Warning Message

低功率電波輻射性電機管理辦法

第十二條 經型式認證合格之低功率射頻電機，非經許可，公司、商號或使用者均不得擅自變更頻率、加大功率或變更原設計之特性及功能。

第十四條 低功率射頻電機之使用不得影響飛航安全及干擾合法通信；經發現有干擾現象時，應改善至無干擾時方得繼續使用。前項合法通信，指依電信法規定作業之無線電通信。低功率射頻電機須忍受合法通信或工業、科學及醫療用電波輻射性電機設備之干擾。

EU Compliance Statement: SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. hereby declares that this device is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of the Directive 2014/53/EU.

A copy of the EU Declaration of Conformity is available online at www.dji.com/euro-compliance

EU contact address: DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany

Declaración de cumplimiento UE: SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. por la presente declara que este dispositivo cumple los requisitos básicos y el resto de provisiones relevantes de la Directiva 2014/53/EU.

Hay disponible online una copia de la Declaración de conformidad UE en www.dji.com/euro-compliance

Dirección de contacto de la UE: DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany

EU-verklaring van overeenstemming: SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. verklaart hierbij dat dit apparaat voldoet aan de essentiële vereisten en andere relevante bepalingen van Richtlijn 2014/53/EU.

De EU-verklaring van overeenstemming is online beschikbaar op www.dji.com/euro-compliance

Contactadres EU: DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany

Declaração de conformidade da UE: A SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. declara, através deste documento, que este dispositivo está em conformidade com os requisitos essenciais e outras disposições relevantes da Diretiva 2014/53/EU. Existe uma cópia da Declaração de conformidade da UE disponível online em

www.dji.com/euro-compliance

Endereço de contacto na UE: DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany

Dichiarazione di conformità UE: SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD. dichiara che il presente dispositivo è conforme ai requisiti essenziali e alle altre disposizioni rilevanti della direttiva 2014/53/EU.

Una copia della dichiarazione di conformità UE è disponibile online all'indirizzo Web

www.dji.com/euro-compliance

Indirizzo di contatto UE: DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany

Déclaration de conformité UE: Par la présente, SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD déclare que cet appareil est conforme aux principales exigences et autres clauses pertinentes de la directive européenne 2014/53/EU.

Une copie de la déclaration de conformité UE est disponible sur le site www.dji.com/euro-compliance

Adresse de contact pour l'UE : DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany

EU-Compliance: Hiermit erklärt SZ DJI TECHNOLOGY CO., LTD., dass dieses Gerät den wesentlichen Anforderungen und anderen einschlägigen Bestimmungen der EU-Richtlinie 2014/53/EU entspricht.

Eine Kopie der EU-Konformitätserklärung finden Sie online auf www.dji.com/euro-compliance.

Kontaktadresse innerhalb der EU: DJI GmbH, Industriestrasse 12, 97618, Niederlauer, Germany



CAUTION: RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE. DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS

Environmentally friendly disposal



Old electrical appliances must not be disposed of together with the residual waste, but have to be disposed of separately. The disposal at the communal collecting point via private persons is for free. The owner of old appliances is responsible to bring the appliances to these collecting points or to similar collection points. With this little personal effort, you contribute to recycle valuable raw materials and the treatment of toxic substances.

DJI サポート

<http://www.dji.com/support>

本内容は変更されることがあります。

最新版は下記よりダウンロードしてください。

<http://www.dji.com/mg-1p>

If you have any questions about this document, please contact DJI by sending a message to DocSupport@dji.com.

